

学習指導要領の内容（4）ア「ヨーロッパ人の来航について理解するとともに、その文化の伝来が我が国の社会に及ぼした影響について考えさせる」に示す内容を、学習指導要領に示していない内容として添っており、不適切である。

発展的な学習 東南アジアの世界

中国とインドのあいだに位置する東南アジアは、大陸のインドシナ半島部と、多くの島々からなっています。そこには、さまざまな民族が、複雑に混在しながら暮らしています。さらに半島部は、大河の下流域にしか広い平野がないため、船互の往来は海上交通に限られていました。また、島々も、海を渡って文化やものが行ききました。そのため、東南アジアは、外部からさまざまな影響を受けてきました。人々、文化や、ものの行ききは、どのように展開されたのでしょうか。



○アンコールワット 石造の寺院で、当時のクメール人社会の発展をよく示しています。

◆西から

インドで生まれた仏教（大乘）が、まず、インドシナ半島部のビルマ、タイ、カンボジア、ベトナム、ラオス、さらにインドネシアの島々に広まり、中国からインドに向かった中国僧（法蔵、義浄）を受け入れましたが、おくれで伝えられたヒンドゥー教が、9～10世紀ごろには東南アジアの人々の信仰を集めました。しかし、13世紀ごろ、スリランカで成立した上座部仏教が伝わると、インドシナ半島部は仏教世界に変わっていききました。カンボジアのアンコールワットは、12世紀はじめ、ヒンドゥー教の寺院としてつくられましたが、13世紀には上座部仏教の寺院と変わり、今日にいたっています。イスラム教は、すでに8世紀には、商人によって東南アジアに伝えられていましたが、13世紀以降、おもにインドネシアやフィリピンなどの島々の人々が、イスラムに改宗していききました。同じ時期に半島部が仏教化していったのと

は対照的です。

なお、バリエーションの人々は、現在もヒンドゥー教を信仰しています。

最後に伝えられた宗教は、キリスト教です。16世紀はじめ、イエズス会の宣教師によって布教がおこなわれましたが、根づいたのは、スペインの植民地となったフィリピンでした。

西からやってきた人々は、イエズス会を除くと、宗教を広めるためではなく、交易のためにやってきました。東南アジアの特産物と見られるショウジョウコショウに代表される香辛料を求めて、紀元前から、インドや、遠くローマから商人がやってきて、西アジア、ヨーロッパまで運びました。のちにイスラム商人がインド洋貿易を独占すると、東南アジアまで交易を広げました。そのため、イスラム教が、島の港湾都市を中心に広まりました。キリスト教が伝えられたのは、香辛料を求めるヨーロッパ商人の船が直接やってきたからです。



○ゾランの港に集った来日船（船中見聞）ゾランは現在のベトナムのタンアン。

◆北から

鎖国によって国を開ききつた16世紀の日本は、海上交通もさかんでした。鉄砲を伝え、キリスト教を布教したポルトガル船やスペイン船は、交易を目的として東南アジアに来て、さらに利益を求めて中国、そしてマルコポーロが伝えた「黄金の国ジバング」（日本）にやってきました。

そのような中で、蘭田舎や徳川幕府は、貿易による利益を求めて、ポルトガル船やスペイン船の来航を歓迎するとともに、大名や商人が送り出す貿易船に朱印状（特許状）をおたえて保護しました。朱印船貿易がさかんになると、多くの日本人が東南アジアとの交易にたずさわり、海をわたっていききました。かれらは東南アジア各地に日本人町を建設し、永住する者もあらわれました。シャム（現在のタイ）国王に仕えたといわれる山田長政は、実在したか明らかではありませんが、タイに日本人の集団ができ、その中から王廟に仕える者がいたことを示す話です。キリシタン大名として知られた高山右近は、キリスト教伝道者ではなかったために、豊臣秀吉によって国外追放となり、ルソン（現在のフィリピン）に逃れましたが、これは当時、フィリピンがキリスト教化していたからというよりは、高山たちを受け入れた日本人町が存在したからです。



○東南アジアから伝わった作物 いずれもアメリカ大陸が原産ですが、東南アジアから伝わってきたので、それによって日本人の食生活が変化した。

東南アジア各地につくられた日本人町は、鎖国によって往来が禁止されると、衰退し消滅しました。

16世紀の東南アジアには、西からはイスラム商人、アフリカ諸島を回ってヨーロッパからやってきた貿易商人、北からは日本人、そして中国人が移住してきました。その中で、現在も東南アジアの社会に大きな影響をあたえているのが中国人です。中国と東南アジアの関係はインドより古いですが、15世紀ごろから中国政府の禁を犯して商人が交易にやってきました。18世紀以降、移住する者がふはじまりました。かれらは、米づくりや商売に従事して、現在、東南アジア全域では2500万人以上となり、現地の経済活動に欠かせない存在となっています。

意見番号48に関連した修正（修正内容と「もくじ」の項目を一致させるため） もくじ

もくじ

歴史の大きな流れをつかむ 折りこみ資料①

第1章 文明のおこりと日本列島

- 1 文明のおこり 5
タイムトラベル 縄文の家 6
- 2 大王から天皇へ 16
タイムトラベル 蘇我の都 20
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 24
- 3 国家の政治と文化 26
国際色豊かな飛鳥・天平の文化遺産 32
女性と子どもの歴史 34

第2章 武家政治の成立と展開

- 1 武家政権の誕生 38
タイムトラベル 源平の戦い 44
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 52
- 2 町や村の人々 54
タイムトラベル 鎌倉・室町時代の市 56
絵画に見る鎌倉・室町時代の町と村 58
女性と子どもの歴史 66

第3章 近世の日本

- 1 鎖国時代の平和 72
タイムトラベル 蘭船が来た 74
国内の安定 86
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 90
- 2 幕府政治の崩壊 94
各地に広がる江戸の文化 100
女性と子どもの歴史 102

第4章 近代の日本と世界

- 1 革命の時代 106
タイムトラベル 黒船が来た 110

もくじ

- 2 近代日本の歩み 118
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 124
- 3 立憲政治への道のり 126
近代化遺産にふれよう 132
女性と子どもの歴史 134

第5章 近代日本と国際関係

- 1 日清・日露戦争と東アジア 138
産業と文化の発展 144
タイムトラベル 南満洲鉄道の開通 146
女性と子どもの歴史 152
- 2 第一次世界大戦と国際関係 154
現代のくらしのちの型 158

第6章 激動する世界と日本

- 1 大正デモクラシー 166
タイムトラベル 文芸・美術の発展 172
2 日本の中国侵略 174
女性と子どもの歴史 182
- 3 第二次世界大戦 184
平和の尊さ 190

第7章 現代の世界と日本

- 1 日本の再出発 194
タイムトラベル 戦後のある日 200
戦後のくらし 202
二つの世界と日本の独立 204
女性と子どもの歴史 210
- 2 わたしたちと現代 214

「自分史」をつくらう

- 「日本の歩みと世界」の学習を終えて 222
人名さくいん 224

もくじ

歴史の大きな流れをつかむ 折りこみ資料①

第1章 文明のおこりと日本列島

- 1 文明のおこり 5
タイムトラベル 縄文の家 6
- 2 大王から天皇へ 16
タイムトラベル 蘇我の都 20
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 24
- 3 国家の政治と文化 26
国際色豊かな飛鳥・天平の文化遺産 32
女性と子どもの歴史 34

第2章 武家政治の成立と展開

- 1 武家政権の誕生 38
タイムトラベル 源平の戦い 44
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 52
- 2 町や村の人々 54
タイムトラベル 鎌倉・室町時代の市 56
絵画に見る鎌倉・室町時代の町と村 58
女性と子どもの歴史 66

第3章 近世の日本

- 1 鎖国時代の平和 72
タイムトラベル 蘭船が来た 74
国内の安定 86
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 90
- 2 幕府政治の崩壊 94
各地に広がる江戸の文化 100
女性と子どもの歴史 102

第4章 近代の日本と世界

- 1 革命の時代 106
タイムトラベル 黒船が来た 110

もくじ

- 2 近代日本の歩み 118
身近な市や町から一地名から探る歴史の世界 122
- 3 立憲政治への道のり 124
近代化遺産にふれよう 130
女性と子どもの歴史 132

第5章 近代日本と国際関係

- 1 日清・日露戦争と東アジア 138
産業と文化の発展 142
タイムトラベル 南満洲鉄道の開通 144
女性と子どもの歴史 150
- 2 第一次世界大戦と国際関係 152
現代のくらしのちの型 156

第6章 激動する世界と日本

- 1 大正デモクラシー 164
タイムトラベル 文芸・美術の発展 170
2 日本の中国侵略 172
女性と子どもの歴史 178
- 3 第二次世界大戦 180
平和の尊さ 186

第7章 現代の世界と日本

- 1 日本の再出発 190
タイムトラベル 戦後のある日 196
戦後のくらし 198
二つの世界と日本の独立 200
女性と子どもの歴史 206
- 2 わたしたちと現代 208

「自分史」をつくらう

- 「日本の歩みと世界」の学習を終えて 216
人名さくいん 218

もくじ

事項さくいん 228

発展的な学習

学習の内容をいっそう深めるために設けてあります。かならずしも学習する必要のあるものではありません。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 農耕型の社会と封建型の社会 14 | アジアの民族運動 162 |
| イスラム世界の形成 68 | 生活を近代化した文明・数値 178 |
| 東南アジアの世界 84 | 戦国の中に時代の表裏を探る 212 |
| 幕末・維新期の世界 116 | |

もくじ

事項さくいん 222

発展的な学習

学習の内容をいっそう深めるために設けてあります。興味や関心に応じて、とり組んでみましょう。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 農耕型の社会と封建型の社会 14 | 幕末・維新期の世界 114 |
| イスラム世界の形成 68 | アジアの民族運動 160 |